

図書館教育の全体計画

学校教育目標 学びとる子 助け合う子 きたえる子

【付けたい資質・能力】

A 思考する書く力 B 協働する力 C 自立する力

各教科・総合での目標	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむことにより、豊かな心情と言語感覚を育てる。 ・目的や個に応じて、要点や要旨を読み取る力を育てる。 ・読書感想文を活用して、書く力を育てる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数理的な処理のよさが分かり、見通しをもって問題解決に取り組むことができる力を育てる。 ・筋道を立てて考える力を育てる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・関心のある社会の諸事情について、資料を収集・活用して追究していこうとする態度を育てる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物や現象について、資料を収集・活用して追究していこうとする態度を育てる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会や自然について、興味・関心をもったことを進んで調べ、自分の生活とかかわらせて考えようとする態度を育てる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の由来や各種の楽曲について調べ、音楽への関心を深める。
工	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた作品を鑑賞し、豊かな心情を培う。 ・様々な表現技法について知り、自らの作品に生かそうとする態度を育てる。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活への関心を高め、日常生活に必要な基礎的知識を身に付ける。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に関心を持ち、健康的な生活を送ろうとする態度を育てる。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自己の興味・関心に基づく課題に取り組むことを通し、資料の選択収集とその活用の能力を育てる。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な読み物を読むことを通して、豊かな心情を培う。同様に、判断力も養い、道徳的実践力につなげる。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用により、必要な知識・技能・態度を身に付け、クラブ活動や各種行事にそれを生かすことができる。

図書館の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ◎図書館の利用の仕方や様々な資料の使い方を理解させ、目的に応じて気持ちよく図書館や資料を利用することができる子どもを育成する。 ◎読書に対する興味や関心を喚起し、読書力を高め、心豊かな子どもを育成する。

学年部の重点目標		
	読書指導	活用指導
低学年	◎やさしい読み物を楽しんで読もうとする態度を育てる。	◎図書館の利用の仕方を知り、本を大切にすることを育てる。 ◎本の並び方にきまりがあることに気付かせる。
中学年	◎いろいろな読み物を進んで読もうとする態度を育てる。	◎十区分のラベルや図書記号についての理解を深め、資料を検索する力を育てる。
高学年	◎読書を通して見聞を広げようとする態度を育てる。	◎課題を解決するために必要な資料を選択収集、活用しようとする態度を育てる。

活用推進事業	
(読書センター) ・読み聞かせ、お話会の実施 ・学年学級での並行読書 ・委員会による読書活動	(学習・情報センター) ・年間活用計画の作成 ・計画的継続的な情報選択・収集・活用力の育成 ・環境の整備 ・検索しやすい配架

家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりによる情報発信と読書の啓発 ・ボランティアによる読み聞かせ、本の修理、蔵書点検の実施 ・公共図書館と連携した団体貸出、オレンジBOX等の利用

児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> ○童話や物語を好んで読んでいる。 ○本の紹介ゲームなど多様な読書活動に親しんでいる。 ○高学年になるにつれ、読書の仕方に個人差が生じる傾向にある。

教師・保護者の願い
<ul style="list-style-type: none"> ○本に親しむことにより、豊かな心、思いやりの心をもってほしい。 ○疑問に感じたこと、分からないことを、進んで調べる子どもになってほしい。 ○分からないことを調べる技能を身に付けてほしい。

各種教育	
ICT	・インターネットや視聴覚機器を有効に使い、図書と合わせて、自分に必要な情報を収集できるようにする。
人権 同和	・いろいろな資料を通して、自分、そして他者への理解を深めるとともに、尊重することができるようにする。
国際 理解	・自国の文化に対する理解を深めながら、世界の国々の独自の文化についても認め、尊重することができるようにする。
給食	・栄養についての基礎的知識を身に付け、健康的な食生活を送ることができるようにする。